

令和元年度 福井農林高等学校 学校関係者評価表

| |
|---|
| <p>(問) ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。 ・その他 |
| <p>(意見を聞く方)</p> <p>長谷川 俊基 氏 (元福井農林高等学校長)</p> <p>佐々木 昭博 氏 (啓蒙公民館長)</p> <p>坂下 貞雄 氏 (福井農林高等学校農友会事務局長)</p> <p>高原 正幸 氏 (福井農林高等学校PTA会長)</p> |
| <p>○教育課程・学習指導</p> <p>基礎学力充実のために、今後も粘り強い指導をお願いしたい。</p> <p>電子黒板など、新しい視聴覚教材・機器を活用した授業に取り組んでいる様子がわかる。来年度にはタブレットが導入される予定なのでそれらを積極的に活用し、さらにわかりやすい授業をお願いしたい。</p> |
| <p>○生徒指導</p> <p>生徒は落ち着いて学校生活を送っており、挨拶やルールの遵守についての成果は、福農生の目玉となっていると思う。新年度においても、粘り強い生徒指導を継続して欲しい。</p> |
| <p>○進路指導</p> <p>卒業後の進路に、学科の学習を活かした就職する生徒が多いことは、農業高校として望ましいことであると思う。</p> <p>地元地域や産業界との連携など、外部と積極的に関わりながらすすめるキャリア教育の推進を今後もお願いしたい。</p> |
| <p>○図書指導</p> <p>一人当たりの図書貸し出し冊数が増加傾向になるので、引き続き本や新聞を読むような工夫や啓発活動をして欲しい。</p> |
| <p>○保護者との連携・安全管理</p> <p>学校ホームページは充実しており、保護者は学校行事を確認したり学校での様子を知ることができている。グリーンメールの既読率が低いのは、保護者にまで渡せていないのではないかと。</p> <p>防災において、地域との連携を今後ともお願いしたい。</p> |
| <p>○スペシャリストの育成</p> <p>資格取得や地域交流、地域貢献に生徒が熱心に取り組んでいる様子がわかる。</p> <p>啓蒙公民館との連携において、こども料理教室は非常に人気で応募者多数のため抽選で参加者を決めている。また、整備した花壇は地域の憩いの場となっており、一人暮らしのお年寄りへの弁当配布など地域が元気をもらっている。これからも続けて欲しい。</p> |
| <p>○いじめ防止の取組み</p> <p>毎月アンケートを実施、必要に応じた担任や教育相談からの個人面談、情報の共有、対策委員会を中心に、行う対応策の検討などの取組みが、いじめの未然防止や早期発見につながっていると思う。</p> |
| <p>○その他</p> <p>頑張っている教員や生徒の姿がみられる。しっかりとした取組みを行った結果、成果が上がっていると感じている。</p> <p>新聞やテレビなどで学校のPRをよく目にするように思う。これからも福井農林高校の良さをどんどんアピールして欲しい。</p> |
| <p>(学校関係者評価を踏まえた今後について)</p> <p>福井農林高校は多くの特色ある取組みを行っている。特に、地域や地元の産業界との連携をさらに進めて、学科で学んだことが直接活かされる分野はもとより、幅広い分野で活躍できる資質・能力を身に付けた人材を育成していきたい。</p> |